

沢池小だより



茨木市立沢池小学校

令和5年(2023)年3月14日 3月第2号

学校運営協議会より

3月4日(土)、3回目の学校運営協議会を開きました。今年度のグランドデザインと学校自己診断との考察、児童のようすなどを主に意見交換がさかんであり、ここに概要を紹介します。



◇令和4年度グランドデザインと学校自己診断データから

グランドデザインの骨子となる教育目標、めざす子ども像、努力目標を次の6項目に分け、これらに関連する学校自己診断の児童回答を集め、保護者回答とも照らし合わせてみました。

令和4年度 グランドデザインより

- 教育目標 未来を拓く子どもたちの育成 ⇒ ①
- めざす子ども像 ・自ら考え、行動する子ども【創造】 ⇒ ②
- ・力を合わせて、ともにのびる子ども【協調】 ⇒ ③
- ・最後までやりとげる子ども【持久】 ⇒ ④
- 努力目標 互いのちがいを認め合い、 ⇒ ⑤
- 自信を持って表現できる子どもの育成 ⇒ ⑥

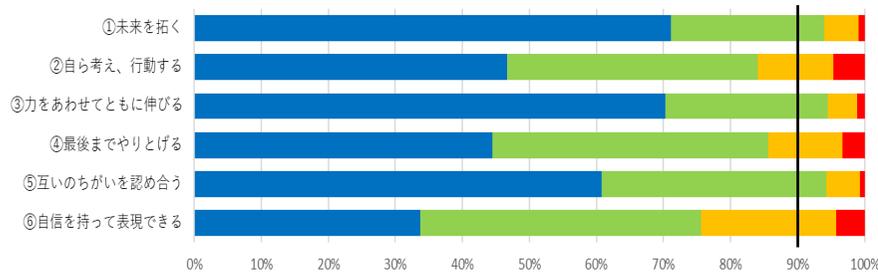


児童の設問は項目①～⑥ごとに4～6問ありましたので、それぞれの平均値をとってみました。

【設問の内訳は裏面参照】

肯定的回答 90%をめやすにすると①③⑤は高め、②④⑥は低めで、児童回答と保護者回答がよく似ていました。

児童の①～⑥平均



保護者アンケートより

①小学生でも10年先、20年先を見据えた、「学びに向かう姿勢」の育成は大切だ。

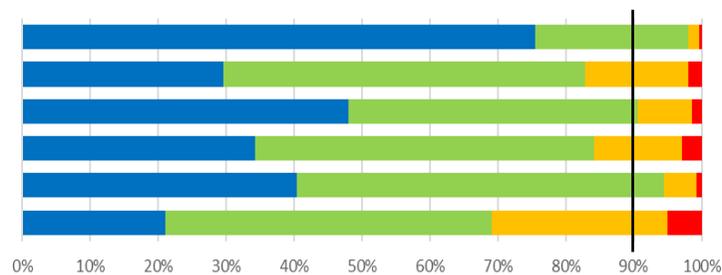
②子どもは、自ら考え、行動している。

③子どもは、ほかの子と力を合わせて、活動することが好きだ。

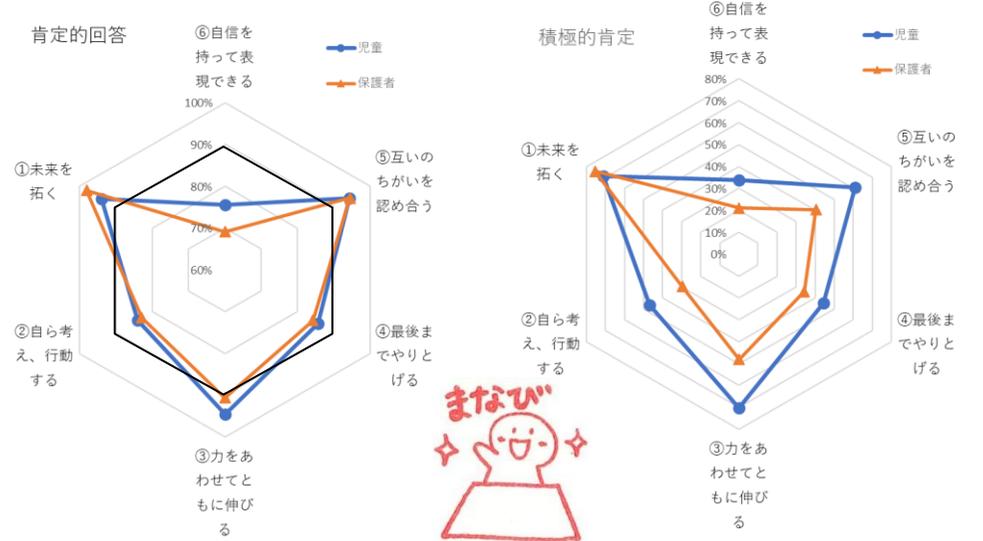
④子どもは、最後までものごとをやりとげるほうだ。

⑤子どもは、他者のちがいを受け入れることができる。

⑥こどもは、自信をもって自己主張できる。



①③⑤と②④⑥の差が見やすいように、レーダーチャートにしてみます。左は「よくあてはまる」と「おおむねあてはまる」を足した肯定的回答、右は「よくあてはまる」のみのグラフで、①③⑤にくらべ②④、特に⑥が低位であることがわかります。また保護者のほうがやや“辛口”のようです。



学校自己診断データからの分析はあくまでも平均値によるもので、子どもたちひとりひとりにそっくりあてはめられるものではありません。そのうえで沢池小児童の全体的な傾向を見てみると、

- 未来に向けて前向きで、仲間と力をあわせることや互いのちがいを認めあうところは強み
- 自分で考え行動したり、最後までやりとげること、特に自信を持って表現するところが弱み

◇学校運営協議員のみなさんから

- ・会社でも新入社員が最後までやりきれず、あきらめる者が多い。自分から主体的に動くこともしないで、失敗の経験が貴重なのに失敗を怖れている。
- ・119番を受ける消防の仕事をしていて、「大丈夫」など言葉の扱いを重く考えている。人は言葉で思考する。国語科で思考力・表現力を高める取り組みに期待する。
- ・自信を持って表現することは、自分が認められる関係性のなかで育まれる。縦割り活動など、自己有用感の醸成も大切。
- ・90点をとっても「なぜ100点じゃないのか」など、子への要求が高く、保護者が褒めたり認めたりがうすいのではないかと。学校では子どもを信頼しているメッセージを与えて自信が持てるようにお願いしたい。
- ・“わくわく”に来る子は大人を求め、保護者や先生の知らない「素」が見えると思っている。家庭では親のルールに逆らわず、息が抜けない子もいるのでは。保護者もまわりの家庭がしているからこうでなければ、と思ってしんどい思いをしているのではないかと。
- ・これらの分析を先生方にフィードバックしてほしい。

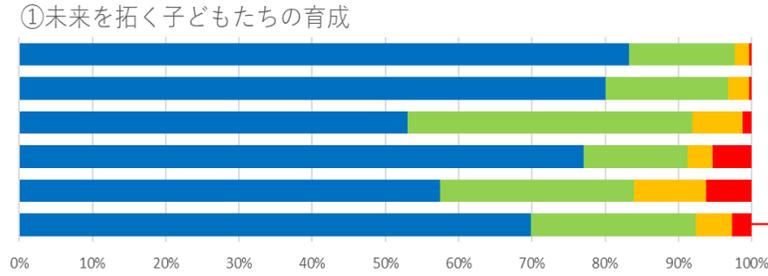
などのご意見をいただきました。これらを教職員で共有し、子どもたちにどのようなアプローチをするか、次年度に向けて取り組みを新たにしていきたいと思います。



<今回使用した児童の設問>

がっこうの べんきょうは おとなになったら やくにたつと おもいます。
 人の役に立つ人間になりたいと思う。
 授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
 おおきくなったら やりたいことや なりたいものが あります。
 将来の夢や目標をもっている。

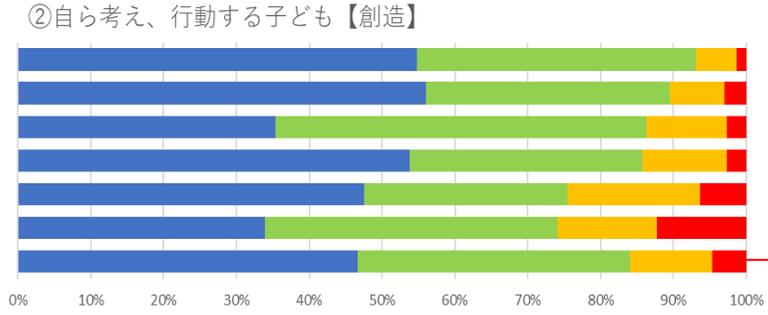
①未来を拓く子どもたちの育成 (平均)



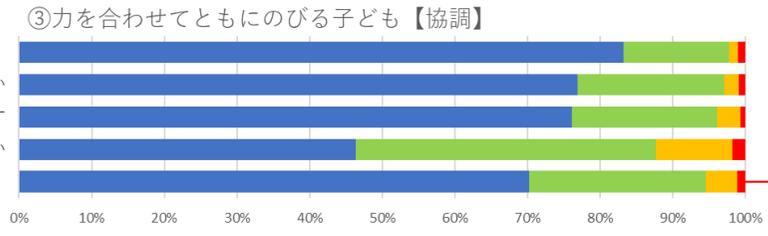
「よくあてはまる(そう思う)」は ■
 「おおむねあてはまる(少し思う)」は ■
 「おおむねあてはまらない(あまり思わない)」は ■
 「あてはまらない(思わない)」は ■
 (表面の棒グラフも同じです。)

ひとが こまっているときは すずんで たすけています。
 わからないことは せんせいに ききやすいです。
 いろいろな授業で見聞きしたことを、もっとよくわかりたいと思う。
 じゅぎょうの ふりかえりが ほかのところで やくにたつたことが あります。
 ずかんや タブレットをつかって きになることを しらべることが あります。
 じゅぎょうで きいたことを さらに じぶんから しらべたり かんがえたりすることが あります。

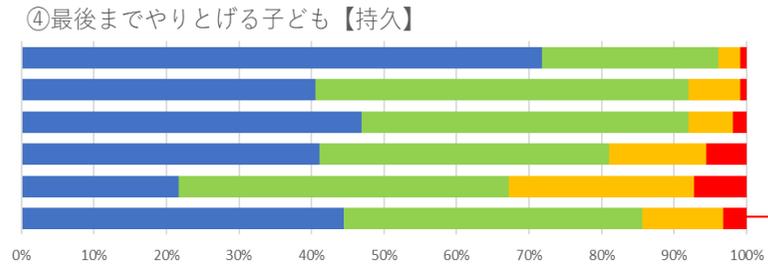
②自ら考え、行動する子ども【創造】 (平均)



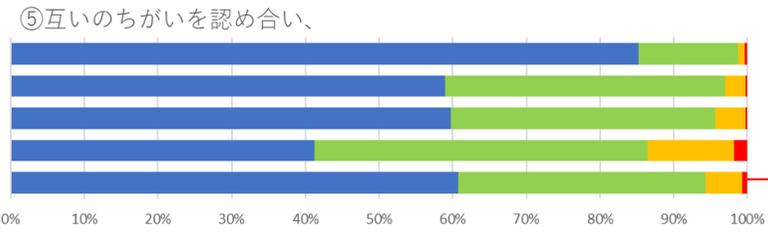
ともだちと いっしょに べんきょうしたり ぎょうじをすることは たのしいです。
 クラスや学年の人と いっしょに取り組むことは楽しい
 ほかの がくねんの ひとたちと いっしょに かつどうすることは たのしいです
 学年のちがう人と いっしょに取り組むことは楽しい
 ③力を合わせてともにのびる子ども【協調】 (平均)



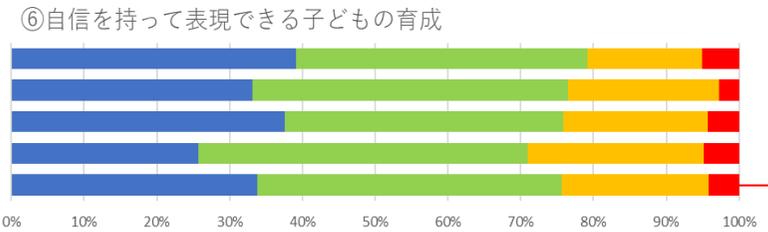
物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。
 チャイムが鳴ったら着席し、授業の準備をしている。
 チャイムが になったら せきに すわって つぎのじかんの べんきょうの よういをしています。
 授業でのふりかえりが、あとで役に立ったと思うことがある。
 難しい問題を解くのが楽しい。
 ④最後までやりとげる子ども【持久】 (平均)



いろいろな人がいて それぞれが ちがっていてよいと おもいます。
 自分を大切にし、他人への思いやりも考えている。
 人それぞれに持ち味があり、自分とはちがうことが楽しい
 人は人、自分は自分と考えることができ、自信を持って行動している。
 ⑤互いのちがいを認め合い、 (平均)



自分の持ち味をいつか言える。
 自分の考えやふりかえりを、書いて人に伝えることができる。
 じゅぎょうで じぶんのかんがえを まとめたり はっぴょうしたり することが たのしいです。
 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることが楽しい。
 ⑥自信を持って表現できる子どもの育成 (平均)



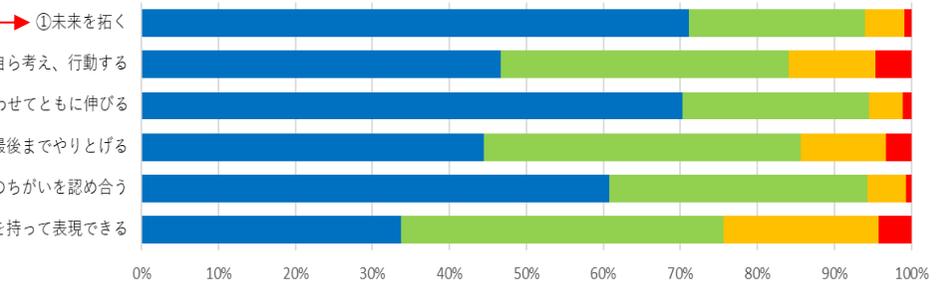
・前回(学校だより 2月第2号)では非認知能力の指標にそって、学校自己診断の結果を考察しましたが、今回は本校のグランドデザインの主要要素にそって、データを集めて考察しています。

令和4年度 グランドデザインより

- 教育目標 未来を拓く子どもたちの育成 ⇒ ①
- めざす子ども像 ・自ら考え、行動する子ども【創造】 ⇒ ②
- ・力を合わせて、ともにのびる子ども【協調】 ⇒ ③
- ・最後までやりとげる子ども【持久】 ⇒ ④
- 努力目標 互いのちがいを認め合い、 ⇒ ⑤
- 自信を持って表現できる子どもの育成 ⇒ ⑥

・①、③、⑤にくらべ、②、④、⑥に「おおむねあてはまらない(あまり思わない)」「あてはまらない(思わない)」が多くみられました。
 (この2群は平均して10%近い差があります。)

児童の①~⑥平均



(表面の児童のグラフと同じものです。)

・よって次年度のグランドデザインは、文言の要素は変えませんが、順序を変えて、より育みたい要素を先に掲げようと考えています。

令和5年度 グランドデザイン(案)

- 教育目標 未来を拓く子どもたちの育成 ← ①
- めざす子ども像 ・自ら考え、行動する子ども【創造】 ← ②
- ・最後までやりとげる子ども【持久】 ✗ ③
- ・力を合わせて、ともにのびる子ども【協調】 ✗ ④
- 努力目標 自信を持って表現でき、 ✗ ⑤
- 互いのちがいを認め合える子どもの育成 ✗ ⑥